已往八年間ノ金澤病院皮膚科教室ニ於ケル驅黴療法 成績ノ統計的研究

メタデータ	言語: jpn
	出版者:
	公開日: 2017-10-04
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者:
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/30736

已往八年間

ハ金澤病院皮膚科教室

二於ケル

原

驅黴療法成績 ノ統計的研究

金澤醫學專門學校皮膚科教室(主任土肥博士)

H

中 清

次

計ヲ作リ驅黴療法ノ參考ニ資セントセル所以ナリ。 ノ慘害ヲ來シタルコ 見ルニ「サルワルサン」創製當時ハ本薬ノ効價ヲ過信シ、 活動力減退ニ因ル一時的現象ニ セ 「サル jν 於ラモ施薬スルニ絶對治癒量ヲ豫定スルコト不可能ナルハ勿論ナルモ是等ニ於ラハ臨牀上ノ觀察ヲ基礎トシテ治療 バ全治セシメ得ルカ計量的標準ニハ多大ノ疑惑アリラ多數ノ實驗報告アルモ歸一スル所ナシ、 困難少キモ黴毒ニ於ラハ驅黴療法ニ因ル症狀ノ消退ハ必ズシモ全治ヲ意味セズシラ、 ワルサン」ノ創製セラレテ之ヲ驅黴治療ニ應用シ卓効アル ŀ 尠シトセズ、 過ギザル 然レドモ又過量ノ使用ハ時日及ビ物質上ノ失費多ク無益ノ業ニ過ギズ、之レ本統 コト多ク況ンヤ潜伏期ノ治療ノ如キ漠トシテ镰ルベキ 僅々一二回ノ注射ニテ全治セル ハ周知ノ事實ナリ、 然レド モノト 單ニ病原體ノ減少或ハ其 モ各期徽毒ニ幾何ヲ使用 信ジタル結果後年意外 點ナシ、 而シラ一般ノ治病上 從來ノ成績ヲ

徽毒ニモ 療ノ成否ヲ早期ニ豫知スル モノ唯之レアルノミナリ、 ワ」氏反應ヲ超越セ 定ノ驅黴治療ヲナシ其効果ヲ確ムルニハ現今唯治療後ノ「ワ」氏反應及ビ臨牀症狀ノ觀察ヲナス外ニ途ナク而 陰性反應ラ呈 ル優秀ナ スル 而シテ余ノ徽毒補助診斷法トシテ「ワ」氏反應ニ重キヲ = ニハ「ワ」氏反應ヲ待ツノ外ナシ、 トア v æ n 1 ナク、 Æ 徽毒ニ對スル 未 ダー般ニ重用セラ 陽性反應ノ 殊ニ潜伏期ニ於ラハ病毒ノ發見及ビ治療成績ノ依 確實性ハ他ノ比及ヲ許サズ、 ザ jv 依 勿論「ワ」氏反應ニ ナセルハ他ニ尚幾多ノ診斷法アル 而シテ本反應ガ驅黴療法 モ錯誤現象アリ、 iv ベ モ治 叉 Æ

見ザレパ不可ナリトセラル、已往ノ驅黴療法成否ヲ云爲セル規準ヲ見ルニ多クハ治療後一回ノ「ワ」氏反應成績ニ準據 後陰性ヲ呈スル 而モ臨牀症狀ノ發現セザルヲ以ラ確實ナルモノトセザルベカラズ、土肥慶藏博士ハ治療後少クモ三ケ年以上ノ經過ヲ 記理想ニ多大ノ軒輊アルモ多少理想ニ近キモノノミヲ收集シラ統計トナシ、之レニ併セラ愚見ヲ記述セント欲ス。 セリ、 之レ余ノ遺憾トスル所ナルモ實際上治療後數年臨牀症狀及ビ「ワ」氏反應ヲ檢シ得ルモノ稀有ナリ、故ニ余ハ上 モ必ズシモ全治ヲ意味セザルヲ以テ騙黴療法ノ完成ハ治療後二ケ月以後ニ於ラ恒久的ニ陰性ヲ呈シ、

○吾教室ニ於ケル「ワ」氏反應檢查及驅黴療法

ラ稀有ニテ吾教室ノ「ワ」氏反應陽性率ハ土肥章司博士ニ依ルニ 驗時効價檢定ヲ實施シテ確實ナルコトニ努メタルヲ以テ「ワ」氏反應成績ニハ缺點少キモノト信ズ。又錯誤現象ハ極メ 兒肝ニ於ラ陽性ヲ呈セルモノニ牛心筋ニテ陰性ヲ呈セルモノ僅々一四七例中二例ニ過ギズ、「コンプレメント」ハ毎試 越幾斯ヲ使用セリ、而シテ兩「アンチゲン」ニ於ケル反應差ハ吾教室上出氏ノ實驗ニヨルエ極メテ僅徽ニテ遺傳徽毒胎 吾教室ニ於ケル「ワ」氏反應ハ常ニ其原法ヲ實施シ「アンチゲン」ハ遺傳黴毒胎兒肝臓ノ酒精越幾斯時ニ牛心筋

第 期徽毒 七七%

八九%

第二期徵毒

第二期徽毒潜伏期

五三%

第三期徽毒 八二%

テ他ノ報告例ト比較スルモ大差ヲ認メザルナリ。

ヲ使用セリ、獨乙製、 舊「サルワルサン」ヲ六七百倍ニ稀釋シテ使用シ初メ一兩年ハ獨乙製ヲ用ヰタルモ歐洲大戰ノ開始シテヨリ和製ノミ 驅黴療法ハ巳ニ定評アル「サルワルサン」及ビ水銀劑ノ併用療法ヲ吾教室ノ開設以來實施セリ、「サルワルサン」ハ常 和製ノ間ニハ已往ノ實驗報告ニ見ルモ何等優劣ヲ見ザルガ如シ。

サ ji ワル 原 サン」ハ普通初回ニ〇・三ヨリ初メ逐次體重ニ適應シテ〇・一宛増量シ七I一〇日毎ニ 著 田中=既往八年間ノ金澤病院皮膚科教室ニ於ケル驅黴療法成精ノ統計的研究 注射シ第一期、

期共少クモ四ー 五回水銀注射二○回ヲ以テ治療一週回トシ、第三期ハ「サルワルサン」少クモ七+八回及ビ水銀注射二

○回ヲ治療一週回トセリ、遺傳徽毒ハ年齡ニ應ジ量ヲ増減セリ。

用ヰシコトナク水銀軟膏塗擦ハ止ムヲ得ザル者ノミニ之レヲ使用セリ、而シテ何レノ場合モ沃度加里(一日〇・五-一・ |銀劑ハ常ニー○%撒汞流動「パラフィンエムルジオン」ヲ○・五宛一週二回臀筋内注射ヲナシ、 其他 ノ水銀注射劑ヲ

○余ノ統計作製方法

○)ノ内服ハ治療期間之レヲ持續セシム。

ヲ 性ノ部ニ記入シ陽性成績ハ一回ノミノモノモ陽性ニ計上シ兩者ノ合計一○八名ヲ得タリ、旭博士ハ治療後「ワ」氏反應 ナル成績ヲ得ル爲メ驅黴療法後二ケ月以上ニ於テ數月ノ間隔ヲ以ラ少クモニ回以上ノ陰性成績ヲ得タルモノノミヲ陰 ヲナセルニ拘ハラズ陽性ヲ呈スルコトアレドモ、其大多數ハ尙驅徽治療ノ不充分ナル者ニ證明スルヲ得タリ。 角「ワ」氏反應ヲ檢セルモノ僅々一五○名ナリ、而シテ治療後尙「ワ」氏反應陽性ヲ呈セルモノノ中稀レニ充分ナル治療 モノニ(治療前陰性ノモノハ治療後ノ「ワ」氏反應ニ比較シ成績ヲ判定シ難キヲ以テ除ク)治療後二ケ月以上ヲ經テ兎モ ナリ、之レニョリ現今驅黴療法後ノ經過監視ノ實際ヲ察シ更ニ余ノ統計表ノ未治癒者ノ多キヲ見、想ヲ患者將來 檢シ得タルモノ治療者實數ノ六分ノーニ過ギズト云フモ余ノ方法ニテハ實ニ全治療患者實數ノ十一分ノーニ過ギザ 治療後陰性成績ヲ呈スルモ僅カ一回ヲ以テ驅黴療法ノ成否ヲ示スモノニ非ザルハ勿論ナルヲ以テ、余ハ比較的確實 大正二年ョリ同九年ニ旦ル各期黴毒患者治療敷一二一○名中治療前發疹ノ有無ニ關セズ「ワ」氏反應ヲ檢シ、陽性ノ

第一期徽毒治療成績ニ就テ

惨害ニ及ボサバ寒心ニ堪ヱザル

æ

ノ余獨リニ非ザルベキヲ信ズ。

(表一)ニ於テ見ル如ク早キハ最終治療後二ケ月以上四ケ月以内遲キハニケ月以上一ケ年半内ニ於テ少キハニ回多キ

原著

田中=既往八年間ノ金澤病院皮膚科教室ニ於ケル驅黴療法成績ノ統計的研究

差アルモ比較的陳舊ナルモノニ大量ヲ用ヰシノミ、只十一例ニ於ラ感染後二ケ月ヲ經過セルモノガ僅カニ「サルワ 四回「ワ」氏反應陰性ヲ呈セルモノ一三名ヲ集メ、其成績ヲ見ルニ「サルワルサン」注射回數ノ最少二回最多ハ五回 ルサン」二回合計○・五五、水銀劑二○回注射ニテ好成績ヲ得タルヲ異常ナリトス。 「サルワルサン」量ニ於テ少キハ○・五五多キハニニ、水銀劑注射回數ノ一○回以下ノモノ三名アリ、薬物使用量ニ大

[表二)ハ治療後二ヶ月以後陽性成績ヲ得タルモノ僅々三名ヲ擧ゲタルノミナルモ何レモ水銀劑注射回數少ク、第一期 徽毒トシテハ何レモーケ月以上ヲ經過セル症例ニシテ、第三例ノ如キハ第二期症狀ヲモ合併セルモノナリ。又第二 例へ治療後始メ陰性(土)ヲ呈セルモ後ニ陽性(世)ヲ呈スルニ至リ、 (表一)ニ比較セバ陽性率著シク少キヲ特異トス。 第一例ハーケ年後第二期症狀ヲ發現セルモノナ

一表第一期徽毒

第

	_									
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番號
越	加	鶴	高	水	中	小	新	藤	濱	姓
村男	納男	野男	阪 男	谷男	田男	川男	男	爛男	田男	名
			7.5		- -			<i>77</i>		
ë	四三	四四	二七	五	二四	프	一九	一八八	二八	年齢
八、六	四三	六	六、一	六、三	Łį	八	七	九	九年	年初
六	Ξ	_		Ξ	六	Ξ	八	Ξ	四月	月診
 R	二月	三月	二月	二月	五月	三週	금	=	前一	時感
月前	前	前	前	前	前	前	月前	週前	ケ月	期染
仝	仝	仝	仝	仝	仝	소	仝	仝	徽第	診
									泰一期	斷
八	四	六	六	t	Ł	八	t	九	九ෞ	應了治
光	三			24	六	Ξ	八 	<u>pu</u>	四月	氏療 反前
##	<u> </u>	 	ttt		<u> </u>	- ##	 	##	 	敷注ルサ
Ŧi.	Ξ	五.	Ξ	Ξ	Ħ.	pq	Ŧi.	=	Ŧī_	射サル 回ンワ
=	八八五	=	-;	-,	一、九	<u> </u>	- ,	्रं	11,11	總 ルサ 量サル
Ξ.	Ti.	=	=	_	九	ħ.	八	七	=	里リルンワ
	_	_		_			_			射水 囘銀
Ö	ō	ō	七	Ö	ō	Tî.	ō	<u></u>	-t	數注
五七	四六	년 ()	五八	五七	五	<u>#</u>	四〇	六〇	五七	体重
ハ 、ハ	四	tį	也二	六	ŧ	八	ţ	九	九年	最治
八	六	=	=	七	八 —	Ŧi.	$\bar{0}$	六	六月	終 日療
	=					_				$\frac{1}{2}$
_				_	_					治療後
		_	_							8 16
										10 反
										1.0 1.5 2.0
										4.0

1 三三 1

原 著 田中ロ既往八年間ノ金澤病院皮膚科教室ニ於クル驅黴療法成績ノ統計的研究

13	12	11
森	廣根	森
男	男	男
33.1	二 四	主七
三二二九	四六	Ξ.
二週前	不明	二月前
仝	仝	仝
二、九	땓	≡.10#
	<u>+++</u>	()
=	=	=
Q , A	<u>=</u> 0	O H H
三 四	<u>-</u>	=
五八		五八
五八二二一	五〇四、八	四三
<u> </u>		

第二表第一期徽毒

3	2	1		昏虎
坂	增	宮	ħ	±
野	田	村		
男	男	男	4	ž.
Ξ	=	=		E A
24	Н. Н.	<u> </u>		初
	H.	六 _年 七 _月		1
			月	診
前二ケ	前一ケ	前一ケ	時	感
月	月		期	染
徽第第	仝	黴第	8	含
毒二− 期』	-	毒一 期	l is	Fr.
7	Ŧį.	大年	應	7治
=	五	七月		療
· 		##	j j	支前
	(11		數注	ルサ
=	74	<u> </u>	別	サルンワ
Q	_;	-	總量	レサ
八五	£	<u> </u>	里:	ンワ
		-	射	水
	_		自動	銀注
<u> </u>	М			
£.	H. H.	四 〇		太
 Zg	<u>п.</u> Ђ.	-		治
DZ.	-4	六 _年 八月	終	
	<u> </u>	- • /3	1 1	療
	<u>+</u>		$\frac{1}{2}$	
##			3	治療
	##		5	月後
			6	ע
			$\frac{8}{11}$	氏反
-		Ott	1.0	
			$\frac{1.5}{2.0}$	华
		發第	1 200	
		診二		
		期		

第二期徽毒治療成績ニ就テ

(表三)治療後陰性成績四○例中潜伏期ノ者三○例アリ、其他ノー○例ハ皮膚ニ第二期ノ發疹ヲ有シタル者ニ驅黴療法 ヲ施行セルナリ、「サルワルサン」最少量○六、最多量ハ三・四、水銀劑注射一五回以下ノモノ一○例アリ。

(表四)第一期ノ表ニ比較スルニ陽性率著シク増加シ、陰性四一ニ對シ陽性四二ニテ潜伏期二二例、即チ半數ヲ占ム。 ナシタルモノ一名、水銀劑注射一五回以下ノモノ一八名、塗擦二ヶ月一名ニテ第三表ニ比較セバ水銀劑注射回數少 キモノ甚ダ多シ。 「サルワルサン」最多量ハニニニラ三名アリ、又不規則ナル治療ヲナシタルモノニ名、水銀劑ノミ(四二回)〃治療ヲ

第三表 第二期 徽 毒

番り
姓
名
年 齢
年初
月診
時感
期染
診
斷
應っ治
氏療反前
反前 敷注ルサ
射サル
總ルサ
量サル
射水回銀
數注
体重
最治
終日寮
1
2 油
4 原後
5 7
8 瓦 反
1.0 應
1.5 年

| 三四 |

•							-																	
	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
原	小	竹	松	前	車	大	Ŀ	市	本	伴	+	閼	吉	山	多	昔	昔	小	木	神	穴	靑	寺	高
著	原	園	本	H	谷	井	田	Ш	田	婸	Л	戶	松	П	田	農	農	野	村	澤	田	井	野	島
	男	男	男	男	男	女	男	男	男	男	男	男	男	男	男	女	男	男	男	男	女	男	男	男
田 中 『	but	Ŧĩ	==	_	014	_	-	=		=		_	=	_		_	=	_		=	-	=	==	
		五八	=	=	四三	=======================================	=======================================	Ξ	士	三六	五.	二九	=======================================	=======================================	ð	一 九	二九	Ξ	ō	==	二 _六_	三六	ō	=
往	五八八	24	六八八	六九	六四	七七七	八二	七	七、六	八	ŧ	七	七、六	八二	八六六	九八八	九八八	八七	九一	八、六	三四	九五	九、二	八年
ハ 年	Д	ō	八.	九	四	-1:	=		六		\subseteq	_	六	=	六	八	八	t	_	六	Dr.)	Ħ.	=	七月
間ノ	不	+	Ξ	=	不	Ħ,	_	=	+	=	H .	=	不		不	=	四		=		七	+	73	前一年
既往八年間ノ金澤病院皮膚科教室ニ於ケル驅黴療法成績	明	年前	三月前	二年前	明	月前	年前	三月前	十月前	三月前	五月前	二月前	明	年前	明	三月前	四月前	二年前	三月前	十年前	七年前	年前	月前	年半
病院	仝	<u>수</u>	<u></u>	溍		有	仝	仝	<u></u>	潛	仝	有	潛	有	仝	仝	仝	潛	有	仝	仝	港	有	 港
皮				伏期		<u>疹</u> 期				伏期		有疹期	潛伏期	多期				伏期	疹期			潜伏期	多期	潜伏期
屑 科 -	右	右	右		右	朔	右	右	右		右				右	右	右	朔		右	右	奶	知	
教室	五八八八	四一	六八八	六九	六、四	七七七	八二	七、一	九五	ハー	七、一二	七、一二	七、六	八二	八六六	九八八	九八八	八七	九一	八六六	五	九五	九	八年
= +							=				=					Л				六	T .	Ъ.	=	七月
ド ケー	Η̈́t	#	#	111	##	##_	#	111	##	₩	ttt	##	##	##	##	#	#	##	111	#	 	##	ttt	##
ル										Δ														
	六	=	四	QU	兀	<u> 11.</u>	六	<u>pu</u>	=	七	<i>₹</i> 1.	四	<i>T</i> i.	Fi,	Ti.	<u>.fi.</u>	四	74	<i>T</i> i.	Ti.	pu	낀	四	74
法	八八八	八九	七	<u>.</u>	1	=	Ξ, E	七	O, 七	=	=,=	七	=,	=	30	五	七七	元	=======================================	九九	三五	一、 七	Ŧ.	<u>.</u>
粮		ル	-6	1	10		и.	-T	-L			~t.				л.	٦.	л.		7L	<u>=</u> <u>Fi.</u>	1G	л.	л.
統																								
ノ統計的研究	ã	turi	$\frac{1}{0}$		一六		=	<u>=</u>	10	_	1 0	5	$\frac{1}{0}$	<u> </u>	10	10		10	1 0	10	_ M	<u> </u>	0	<u> </u>
熨	U	四			즈	Ti.		<u>U</u>	U	_	<u> </u>				0	<u> </u>	<u> </u>	U	U		<u> </u>	74	<u> </u>	
%	四六	四八	五五	五四	*	四五	五三	五六	<u>Fi.</u>	五四	ő	四三	四七	£i. —	四八	四一	五九	Ŧ.	\mathcal{L}	四五	五 九	£i. Ξ	四七	四七
		74			六		八		七							九								八年
	五二	四一	<u> </u>	六、一	六、六	七九九	八四	八三	七、七	八四四	八一	八二	七、八	八四	八九九	九一〇	九一〇	九二	九四四	八八八	三七	九七	九、四	九月
			O					_						٠.		U	<u>U</u>							
				=	+			_	土	_														
•																								
1									_			-								_				
盖			-										<u>-</u> -		<u> </u>								_	
1.																					_			
•			_												-									

4
==
三
バ

3	2	1	番號
中	堀	糜	姓
西		井	
男	男	女	名
三七	=	三五	年齢
八	八	八年	年初
<u></u>		三月	月診
月一 前年	六	不	時感
四四	月前	明	期染
仝	有	潜	診
右	珍期	伏期	斸
Ą	八	八年	應ご治
ρu		三月	氏療
##	 	##	反前
24	==	Д	数注ルサ 射サル 目ルワ
			ノルサ
七		私	絶サル
			射水 囘銀
ō	不明_	ō	数注
七〇	四七	四五	體重
八	八	八年	最治
七		ÆВ	終日療
	##		1)
			2 治
		士・	療
			5 月後
0#	0	<u> </u>	6 8 E
<u> </u>			10 反
			1.2 應
			$ \frac{1.5}{2.0} $ 年

第四表 第二期徽毒

39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	2 9	28	27	26	25
堂	橋	加	伊	别	草	H	山	矢	ス	越	西	多	森	白
端	本	藤	藤	肵	鹿	原	本	郷	Ħ	馬		H		木
男·	男	男	男	男	男	女	男	男	男	男	男	男	女	男
四 〇	四八	===	===	三九	五.	11	二七	=	3	<u>=</u>	三七	二九	===	二 _ 六
=======================================	六、一	四,一〇	四二	二、六	四三	三八八	펟	<u>E</u>	四四四	<i>T</i> .	呵	形七		三七
六	不	不	不		+	不	不		不	六	不	不	不	六
月前	明	明	明	月前	年前	明	明	明	明	月前	明	明	明	月前
仝	仝	仝	仝	仝	仝	仝	仝	仝	潛	有	潛	潜	有	潜伏期
右	右	右	右	右	右	右	右	右	切期	期	切期	以期	期	切期
Ξ.:	六、一	五二	四三	二六六	24 24	三八八	四	2Ч Ж.	四四四	Ħ.	四、七	五、七	四 =	三七
 	##	 	+++	##	111	+ +	= ##	##	111	##	ttt	##	##	##
=	рц	pcj	Ξ	Ξ	Ξ	六	Ξ	=	=	四	≡	八	24	Ξ
〇 六	五	四四	九九	九九	八九	0.0		Q A		七七	=	三四	八七五	八九五
<u>-</u>	<u>-</u>	ō	<u> </u>	ō	<u> </u>	1 =	一 六	_	<u> </u>	一大	一六六	一六	io	ō
四一	六一	六二	Ŧi O	Ti.	<u>fi</u>	<u>Б</u> .	ਨ O	T.	五七	<u></u>	#i. O	四七	四五	四六
三七	六三	五、三	四六	二八八	四、六	= -	五三	四七	四七	五 三	四三	<u>T,</u>	三四四	=-1=
				_							_			_
							_				homes			_
									_					
								_						
														土
	堂端男 四〇三二 六月前 仝 右 三二 卅 二 〇六 二〇 四二	堂端男 四〇三二 六月前 仝 右 三二 卅 二〇六 二〇 四一橋本男 四八六一 不 明 仝 右 六一 卅 四一五 一〇 六二	堂端男 四〇三二 六月前 仝 右 三二 卅 二〇六六 二〇四二 縮本男 四八六一 不 明 仝 右 六一 卅 四一五 一〇六二 二〇六二	堂端男 四〇三二 六月前 仝 右 三二 卅 二〇六 二〇四二加藤男 二三四二〇不明 仝 右 五二 卅 四一五 一〇六二加藤男 二三四二 不明 仝 右 四三 卅 三〇九 二〇五〇	堂端男 四○三二 六月前 仝 右 三二 卅 二○六六 二○ 四二 加藤男 二三四二○不明 仝 右 五二 卅 四一五 一○六二 和藤男 二三四二○不明 仝 右 五二 卅 四一四 二○六二 元○五○ 六二 卅 三○九 二○五○六二 元 五○五○ 六二 卅 三○九 二○五○ 六二 五○五○五○五○五○五○五○五○五○五○五○五○五○五○五○五○五○五○五○	草塊男 五六四/三 十年前 仝右 五二十十四 二〇五〇 別所男 三九二/六 六月前 仝右 五二十 四一/五 二〇五〇 別所男 三九二/六 不明 仝右 五二十 四一/五 二〇五〇 村本男 四八六/一 不明 仝右 五二十 四一/五 二〇五〇 大二 六月前 仝右 五二十 四一/五 二〇五〇 大二 五二 二〇五 五二 五二 五二 本 五二 五二 五二 五二 五二 五二 本 五二 五二	草塊男 五六四/三 十年前 仝右 五/八 十年前 仝右 五/八 二〇 五〇 別所男 三九二/六 六月前 仝右 二/八 世四 二〇 五〇 五〇 加藤男 二三四/二 不明 仝右 五/二 世四 一〇 九 二〇 五〇 橋本男 四八 六/二 不明 仝右 五/二 世四 一〇 九 二〇 五〇 橋本男 四八 六/二 不明 仝右 五/二 世四 一〇 六 二 五〇 六 二 五〇 六 二 五 二 二 五 二 二 二 二 五 二	□ 山本男 二七四、二二 不明 仝 右 三、二 卅 三 一、二 二 五 二 四 四 五 二 四、二 二 五 二 五 二 四 二 二 五 二 五 二 二 五 二 二 五 二 二 五 二 二 五 二 五	堂端男 二二四、五 不明全右 五、二 二二五 一、六 二 五、二 二 二 五、二 二 二 五、二 二 </td <td> □ 大田男 □□ 四′四 不明 澄伏期 四′四 冊 □ □ 1□ 五□ □ 大田男 □□ 四′四 不明 全 右 四′五 冊 四 □ □ 五□ □ 五二 四′二 不明 全 右 四′五 冊 四 □ □ 五□ □ 五二 四′二 不明 全 右 四′五 冊 四 □ □ 五□ □ 五二 四′二 不明 全 右 四′三 冊 三 ○′九 □ □ 五□ □ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ □ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ □ 五□ 五□</td> <td> □</td> <td>西 男 三七四、一 不 明 潛伏期 四、七 世 三 一、一 二 五 二 四 五、一 六 月前 有 海 明 五、一 世 四 一、七 一 六 六 〇 四 四 平 明 四 全 右 四、二 世 四 一、九 二 〇 五 0 四 平 明 全 右 四、二 世 四 一、九 二 0 五 0 元 二 四、六 不 明 全 右 五、二 世 四 一、五 二 0 五 0 元 二 二 六 二 0 五 0 元 1 0 元 1 0 五 0 元 1 0 元 1 0 五 0 元 1</td> <td>多田男 二九五、七 不明 潜伏期 五、七 卅 二 〇、六 二〇 四 二、六 五〇 四、六 六 三 四,</td> <td>公田男 二九五、七 不明 有參期 四、二 四、二 二 四、二 二 四、二 二 四、二 二 四 三、七 四 三、七 四 三、七 四 三、七 四 三、七 四 二 五 四 二 五 四 二 五 四 五 四 二 二 五 四 二 二 二 五 四 二 二 二 二 二 五 四 二 二 二 五 四 二 二 五 四 二 二 二 二 五 四 二</td>	 □ 大田男 □□ 四′四 不明 澄伏期 四′四 冊 □ □ 1□ 五□ □ 大田男 □□ 四′四 不明 全 右 四′五 冊 四 □ □ 五□ □ 五二 四′二 不明 全 右 四′五 冊 四 □ □ 五□ □ 五二 四′二 不明 全 右 四′五 冊 四 □ □ 五□ □ 五二 四′二 不明 全 右 四′三 冊 三 ○′九 □ □ 五□ □ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ □ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ 五□ □ 五□ 五□	 □	西 男 三七四、一 不 明 潛伏期 四、七 世 三 一、一 二 五 二 四 五、一 六 月前 有 海 明 五、一 世 四 一、七 一 六 六 〇 四 四 平 明 四 全 右 四、二 世 四 一、九 二 〇 五 0 四 平 明 全 右 四、二 世 四 一、九 二 0 五 0 元 二 四、六 不 明 全 右 五、二 世 四 一、五 二 0 五 0 元 二 二 六 二 0 五 0 元 1 0 元 1 0 五 0 元 1 0 元 1 0 五 0 元 1	多田男 二九五、七 不明 潜伏期 五、七 卅 二 〇、六 二〇 四 二、六 五〇 四、六 六 三 四,	公田男 二九五、七 不明 有參期 四、二 四、二 二 四、二 二 四、二 二 四、二 二 四 三、七 四 三、七 四 三、七 四 三、七 四 三、七 四 二 五 四 二 五 四 二 五 四 五 四 二 二 五 四 二 二 二 五 四 二 二 二 二 二 五 四 二 二 二 五 四 二 二 五 四 二 二 二 二 五 四 二

2	7	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4
	寸	村	村	櫻	河	管	大間	大	道	H	村	宫	松	大	大	小	遠	石	林	關	鈴	神	山	青
	上男	上女	中男	井 女	崎男	澤男	間知女	垣男	前男	川女	田男	森男	田男	橋男	蔵男	幡男	藤女	田男	女	户 女	木男	澤女	田女	木男
																3								
<u> </u>		=======================================	<u>=</u>	<u> </u>	=	<u> </u>	$\frac{1}{0}$	=======================================	二八	ă	깯	===	111	二六	二 七	五三	三四四	1111	七七	二六	五五	=	Ξ	三四
P	<u> </u>	五、四	五	五、四	五、六	四八八	맫	三、五	五	Ħ,	Ŧ,	ŧ,	八七	八七	八三	せ、七	八三	七、八	せ、ニ	八四	八三	八二	八	八
(5	20		DV)	六	八	_	Ŧī.	五二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	-	<u>#</u>	_	七	七	Ξ	七	Ξ	八	1 11	24	Ξ	ō	1 11	_
7	不	不	=	杏	二年	不	_	£	-	不	_	=	二年前	五.	참	不	_	不	カ	不	六月前	不	不	不
ij	明	明	年前	六月前	中前	明	年前	年前	年前	明	年前	二月前	前	月前	六月前	明	年前	明	角前	明	前	明	明	明
. 5	<u></u>	仝	有	仝	仝	소	潜伏期	有	仝	仝	仝	潜伏期	仝	仝	有疹期	潜伏期	有疹期	仝	潜伏期	소	有疹期	潜伏期	有疹期	潜伏期
_ 7	ឥ	右	疹期	右	右	右	期	疹 期	右	右	右	期	右	右	期	期	期	右	期	右	期	朔	期	朔
2	Ų	四	三、六	四、三	<i>I</i> ,	六、五	五 二	二、 五	<i>I</i> .	六、四	<u>#</u>	ţ,	六四		八三	七、八	八三	七九九	八 二	八五	八、三	八二	九	八
	\supset	图,10#			 - C#						_ 											- - -	_	
	ll	##	##	 	##_	##_	##	##	#	<u>#</u>	#	₩	111		#	₩	##	##	##	##	##		##	_#
-	=	=	/	рu	Ξ	=	Ξ	=	Ħ.	24	29	Ħ	四	Ξ	pų	24	24	23	29	Ξ	<u>P9</u>	六	24	рų
	ر ار	$\bigcap_{\vec{h}}$			=	O. 4	О, Л	O,七	=;=	1,11	一、七	= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	一,七		一.七	^	_		-		-,	17:1	-,	_
J	h.	fi.	/	t	=	七	八	七	=	Ξ	七	=	七	=	七	六	六	七	六		七七	=	Ŧ.	七
								塗擦								,								
	<u> </u>	六	四三	六	九	<u></u> [74]	=	塗擦六〇	一 八 ·	0	110	<u>=</u>	<u></u> 孔	ō	<i>H</i> .	Ŧî	ō	10	七	ō	六	Ö	ō	
₹	FL.	三七	六〇	四七	<u>F</u> .	<u>#.</u>	<u>Fi.</u>	五七	五八	四	五二	五.	五六	四六	五 五	六二	四七	四五.	四八	四七	<u>F</u> .	1 .	±	۲ O
								七																
-	म् -	Dri —	四七	L L	五八八	四七	<i>h</i> .		六三	六七	六、三	七、三	六七	八八八	八四四	七一	七六六	七、一二	八五	八八八	八四四	九二	九四四	九一
	_	_						_	##		##					_	 		_				ttt	
		_			_##_	#				##		† †	##		##			†††	 	†††		#		##
				##			•					114											ttt	111
	Ħ	##	ttt											ttt				-			Ħ	##		
	ŕ							+++								Ht,	-							
							 																	
							/11		-															

原

42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	2 9	28
濱田男	長尾男	山根男	闘女	三田女	江 田 男	熊谷男	熊谷女	三善女	端男	南保男	死 野 男	谷男	小林男	田島男
<u>=</u>		三七	三五	ö	===	二九	1111	=	二六	1111		五	크	110
二九	= =	二八八	二、九	五	二 五	二九	二九	八六六	四四	四二二	四五五	四二	<i>Ii.</i>	
不	不	不	华	不	不	不	不	不	不	三年	六月	不	四月	不
明	明	明	ń]	明	明	明	明	明	明	前	前	明	前	明
仝 右	潜伏期	仝右	有疹期	潜伏期	仝右	仝右	全右	有姿期	仝右	潜伏期	全 右	有疹期	仝右	潜伏期
二九	= = =	二、八	二九	式	<u>=</u>	二九九	二九九	八六六	四四四	四二	M K		五	四 三
##	##	ttt	##	##	#	111	##	 	₩	 	111	##	<u> </u>	0
=	=	=	=	=	=	=	=	29	=	=	=		py	Ξ
О Х	<u> </u>	O, H	八七	Q 七	~ °	Q N	O, 75	五	○ 七	0	=	Ç H.		_
=	一六	=	<u>:</u>	二七七	一大	10	<u></u>		<u>-</u>	10	10	Ћ	一次	八
五二	折. 二	六こ	四八	四八	五 二	<u>四</u> 五	三九	四 五	折. 三	五七	五八	<i>Б</i> .	fi.	Ii. Ii.
=======================================	=======================================	1.10	=, -	ニ、六	二七七	<u></u>	1.10	八八八	<u>M</u>	땓	四八	四三	fi, Fi.	#.
	 					 			 	##	ŧ		土	#
##			##	 	ttt		† †							
Ħ		+ +											 	

第三期徽毒治療成績ニ就テ

(表五)第三期黴毒ノ治療敷甚ダシク少ク僅ニーー名ナリ、其中治療後陰性トナリシモノ四例ニテ「サルワルサン」最少

量一・九、最多量二・九ニテ水銀劑注射ノ甚ダシク少キモノ(六回)一例アリ。

(表六)陽性率愈々増加シ陰性四ニ對シ陽性七ナリ、「サルワルサン」最多量三二ニテ其大多數五例ハ水銀劑注射甚ダシ ク少量ニテ第一例ハ治療充分ナルガ如キモ不規則ニテ後年「デメンチア、バラリチカ」ヲ發現セリ。

附記、以上六表「サルワルサン」注射回數欄ニ△印アルハ注射間隔不規則ナルモノナリ。

原 田中=既往八年間ノ金澤病院皮膚科教室ニ於ケル驅黴療法成績ノ統計的研究 ヲ經テ二回以上「ワ」氏反應ヲ檢シ得タルモ

第 二次 治 療 者 成 績

上述治療者中治療後尚「ワ」氏反應陽性ヲ呈シタルモノ五三名中更ニ引續キ第二次治療ヲナシ、其治療後二ケ月以上

番號 4 3 2 1 7 6 5 藁 河 大 根 姓 及 黑 村 科 塚 能 達 田 田 合 男 男 女 女 女 男 男 名 年齢 二八 三三 二四 二九 四三 二七 Ξ Ξ,Ξ 三、五 五五 六、八 九_年 七月 六九 年初 月診 二年前 不 時感 不 不 不 不 Ħ. 年前 明 明 明 期染 明 明 第三期 潜伏期 診 소 仝 仝 仝 仝, 右 右 右 右 斷 右 五五 五五 六八八 八三 九_年 七月 應プ治 **ご氏療** 反療 _ # # # # ## 数注ルサ 射サル 囘ンワ 4 四 Ų 四 七 24 七 總ルサル 量 ンワ ī, 一 五 射水 囘數 建 =0 픙 Ŧi. Ξ 体重 四五 四九 四五 四八 五五 五五 九年 最治 経療 三九 七五 八五. 五七 六一 三五 ## ## 1 $\frac{2}{3}$ 治療後 ## 4 5 8 ワ 氏反應 ## 10 $\begin{array}{c} 1.0 \\ \hline 1.5 \\ \hline 2.0 \end{array}$ ##

○\||七 年 後 三途 ヶ 月擦 第 Ŧi. 表 第 三 期 黴 毒

第

六

表

第

Ξ

期

黴

毒

4	3	2	1	番號
加藤	荒	多田	中田	姓
男	男	女	男	名
三五	<u>=</u>	Ξ	===	争
=	t	八、六	八白	年初
<u>pg</u>	八	六 	三月	・月診
六年	七年	六年	七年	時感
前	前	前	前	期染
仝	仝	仝	第二	診
右	右	右	期	斷
=	t	八	八日	應っ治
四	八	六	三月	五 氏 原 反 前
 	#	##	 	動注ルサ
Ħ.	七七	Ŧī.	六	射サル
=======================================	二九九	一、九	二、七	總 ルサ 量 サル ンワ
六	ō	= Ö		射水 囘銀 數注
五八	五七	四八	五三	体重
二、六	八.	八九九	八月八月	最治 終 日寮
				$\left \frac{1}{2}\right $
				3 治療
				4 月後
				6 7
				8 氏 反
			_	1.0 應
				1.5 年
				1 4.01/

ノ一三名ヲ得タリ。驅黴療法ノ完全ナルニ拘ハラズ、長ク「ワ」氏反應陽性

原

w ヲ呈スルコ ŀ ナシ「ワ」氏反應陽性ナルモノニ長ク數年乃至十數年何等ノ症狀ヲ呈セザルモノ少カラズトセリ、此ハ余ノ統計表ニ依 **遂行スベキモノナルヤニツきラハ松浦有志太郎博士、宮崎儀學士等モ疑問トセシ所ニテ氏等ハ「サルワルサン」注射ヲ** ナルマデ續行スベキモノナルコトヲ主張セントス。卽チ ニ驅黴療法ハ或ル特別ナルモノヲ除キラハ(充分ナル療法後モ尙「ワ」氏反應陽性ヲ呈スルモノ)全然「ワ」氏反應陰性 トアルハ文獻ニモ散見シ、吾人モ又稀レニ認ムル所ナリ、而シラ驅黴療法ガ「ワ」氏反應ノ陰性トナルマデ

|表七)ニ示スガ如ク第一次治療後尙「ワ」氏反應陽性ノモノニ第二次治療ヲ施セルニ(五)、(七)ノ症例以外ハ途ニ陰性 メ得ル 比シ治療程度輕クトモ充分奏効スル Æ **之**レヲ以テ治療後「ワ」氏反應ノ陽性ナル 應ガ治療後モ陽性ナリシモノノ一例ニテ松浦(宮崎兩氏ノ稱スル例ニ適合スベキモ左程多キモノトハ信ズル能ハズ。 半以後ニ於テ「ワ」氏反應陰性ヲ呈スルニ至リ加フルニ何等臨牀症狀ヲ發現セズ、之レ全治セルニ拘ハラズ「ワ」氏反 性成績ハ當然ナリ、(五)ハ治療充分ナリト信ジタルヲ以テ治療ヲ中止シ其後數回「ワ」氏反應ヲ檢シタルニ途ニ一年 ニ變ゼシメタリ、 ノニテ「サルワルサン」治療ニ併用シ其價値大ナルヲ推知シ得ベシ、本表ニツキ見ルニ第二次治療ハ第一次治療 サン」及ビ塗擦治療ヲナシ、第二次治療ハ水銀劑注射ノミニテ斯ル末期黴毒ノ治療トシテ不充分ナルヲ以テ其陽 モノナリ。表中第二次治療ガ水銀劑注射ノミニテ成績良好ノモノ一例アリ、之レ水銀劑ノ卓効アル 而モ(七)ハ肝臓護謨腫ニラ體質衰弱シ普通一般的治療ニ堪エズ、第一次治療ハ少量宛ノ「サル æ ノノ トキハ更ニ第二次治療ヲ施行セバ本表ニ見ルガ如ク大多數ヲ陰性ニ變ゼシ 如シ勿論第一次治療トノ間隔日數可及的短カキヲ可トス。 ヲ證スル

第七表

1	番號					
中	姓					
西 男	名					
二七	年齢					
有第	診第					
<u>疹</u> 二 期期	断欠・					
<u> </u>	注射に 別に り り り り り り り り り り り り り り り り り り					
-; -t	注射に対します。					
<u>.</u>	劑銀前 囘注回 數射水					
八ヶ月後冊	及[ロール]氏					
	數サ第					
<u> </u>	旧次					
t	総全 量					
	注水仝 射銀 敷劑					
	間療前 隔ト回 ノ治					
	1 2 3 4 5 6 8 10 1.6 1.5 2.0 4 第後プリ氏反應					

其過半ハ全治シ得べキモノト信ゼラル。

原 著 田中=旣往八年間ノ金澤病院皮膚科教室ニ於ケル驅黴療法成績ノ統計的研究

7 2 13 12 11 10 9 8 6 5 4 3 大 大 藁 石 濉 Ш 村 江 村 村 藏 垣 科 Ш 澤 田 H H ф 崎 H 男 男 男 男 男 女 男 男 女 女 女 == 三四 二七 Ξ Ξ 三四 二七 ti 潜 供 期 潜第二期 仝 仝 潜第伏に 第三期 仝 仝 소 仝 仝 仝 (伏期 右 右 右 右 右 рų рц рЦ DY **=** 〇 七 子 一 一、七 一、六 途際 三月 塗擦 -0 ã ō 二月 Ħ. 後 廿 丗 五月後世 二月後卅 三月後世 四月後卅 六月後卅 十月後卅 三月後卅 二月後出 一月後卅 二月後世 一月後冊 Τi. 〇 七 O M 一、七 〇 七 〇 七 _;= 一、七 <u>,</u> 一九九 = \bar{o} ā $\frac{2}{0}$ $\bar{\bar{c}}$ ō <u></u> 五 一三ヶ月 三ヶ月 三ヶ月 五ヶ月 六ヶ月 六ヶ月 五ヶ月 二ヶ月 二ヶ月 六ヶ月 ヶ年 ヶ月 ## ## ## ##

概括

呈セ 以下ノモノ七例、一∙○以上ノモノ六例ニテ第一期黴毒ハ「サルワルサン」→・○以上水銀劑注射二○回ヲ嚴密ニ施行セバ 第一期黴毒ニテハ治療後「ワ」氏反應陰性一三ニ對シ陽性三ニテ陽性率他ノ各期黴毒ニ比シ甚ダ少シ、而シテ陽性ヲ ル三例共水銀劑注射一五回未滿ニテ本成績ニ影響スル所少ナカラズト信ズ、陰性ニテハ「サルワル サン」總量一・〇

之レ陽性中ノ主ナルモノハ(其約年數)水銀劑注射一五回以下ニテ「サルワル ハーサ 第二期有疹期黴毒ニテハ治療後「ワ」氏反應陰性 iv ワ n サン」一。八以下ニテ陰性ノ部ノ一・八以下ニテ陰性ヲ得タル 一一ニ對シ陽性二〇ニテ陽性率第一 ・モノ サン」ハ何レモ過少ナリ、 一一例中七例ナリ、放ニ第二期有疹期黴毒 期黴毒ニ比シ蓍シク増加セリ、 卽 チ陽性ノ全部

四三

厭

Ť ハーサ iv ワ サン」一・八以上水銀劑注射二〇回ヲ嚴密ニナサバ、其大多數ハ全治シ得ル Æ 1 ŀ 信ゼラル

= 増加ス、之レモ第二期有疹期同様「サルワルサン」量ノ過少ト水銀劑注射ノ不足(一五回以下)ニ依ル 第二期潜伏期黴毒ニラハ治療後「ワ」氏反應陰性三○ニ對シ陽性二二ニテ第一期ニ比シ第二期有疹期ト ルサン」一・八以下ニ陽性最モ多シ、敌ニ第二期潜伏期ニ於テモサルワルサン」一・八以上ヲ注意シ水銀 Æ 劑 同 ノニテンサ 注 機陽性 射ヲ二〇 李 頓

回以上嚴密ニ施行セバ、其大部分ハ全治シ得ルモノノ如シ。

四 ハ「サルワルサン」二・○以下ニテ而モ陽性全部ハ水銀劑注射一五回以下ナリ。「サル 第三期黴毒ニテハ治療後「ワ」氏反應陰性四、 中一ニラ表ニ見ル如ク「サルワルサン」二・〇以下ニテハ殆ド絕對ニ治癒ヲ希マレザ 陽性七二ラ何レモ症例少ク推定ヲ與フルニ困難ナル ワルサンニ・〇以下ノ陰性 'n ガ如シ。 モ陽性七例中六例 八陰性

ガ 之レ三者ノ治療規準略一致セルヲ以ラナリ、 期ハ舊「サルワルサン」一・○、第二期ハ約二・○、第三期ハ約二・五以上三・○ヲ治療 較スルニ第二期、第三期ノ「サルワルサン」注射量ニ可ナリノ差アルモ、余ノ統計ニハ略雨者ノ平均量ニー致シ、 大部分ハ第二次治療ニョリ「ワ」氏反應ハ陰性トナルモノナリ。 ハ一三、第三期ニドナフ氏ハ三・○、旭氏ハニ・○ヲ以テ「サルワルサン」治療ノ一週回トスルヲ便宜 モノハ必ズ引續キ第二次治療ヲ必要トシ、 ン」及ビ水銀劑ノ併用ヲ確實ニスル程治癒率ヲ增シ、又早期ニ治療スルモノ程治癒シ易ク治療後尚「ワ」氏反應陽性 、旭氏へ「ネオ」ニテ記載シアルモ、余ハ此ヲ便宜上舊「サルワルサン」ニ換算記載セリ)第二期ニドナフ氏ハニ・○、旭 教室ニ Ł **連統計ハ勿論敷ニ於ラハ多シト云フ能ハザルヲ以ラ徹底的觀察ハ不可能ナル** テ常ニ使用 ス n 水銀劑 一〇%撒汞流動「パラフィン\エムル 尙陽性ノモノハ數ケ月以上「ワ」氏反應及ピ臨牀症狀ヲ觀察スペキモノニラ 勿論何レノ場合モ水銀劑ノ併用ヲ忽セ ドナフ氏、旭氏ハ第一期ニ「サル تخ オン」ニシテ他ノ可溶性水銀劑ナレバ注射回數 モ要スルニ驅黴療法ハ「サ 週回トス ニスペ カラズ、 ルヲ適當ナラント信ズ。 ワル 前述セ ŀ サン」約一・〇瓦 y o pν ガ 兩者ヲ比 jν ワ 如ク吾 第一 n サ

増加ヲ要スル

勿論ナリトス。

(133)

原 著

田中=既往八年間ノ金澤病院皮膚科教室ニ於ケル驅黴療法成績ノ統計的研究

結

詹

○死、第三期ニテハ總量二・五瓦以上ヲ以テ治療一週回トナスヲ適當トス。 各期黴毒ニ對スル「サルワルサン」使用量ハ區々ナルモ、第一期ニテハ總量約一・○瓦、第二期ニテハ總量約二・

期三第期伏潜		期三第期疹有		期二第期代潜		期二第期多有		期一第		注サルフ
陽性	陰性	陽 性	<u>陰</u> 性	陽 性	陰性	陽性	陰性	陽性	陰性	^ル サン」
0	0	0	0	=	=	六(三)	0	0	=	0, 4
0	0	0	0	<u>四</u> (四)	<u></u> £i.	1		 (_)	=	〇. 八
0	. 0	0	0	= (-)	<u>(-)</u>	六 (三)	 ()	0	Ξ ₍₋₎	0,1
0	0	四 (三)	0	五 (三)	<i>T</i> i.	=(-)	=	<u> </u>	 (-)	一 五
0	0	0	0	<u>阿</u> (-)	<u>t;</u>	(三)	Ξ	0		一 式
	0	1] ⁽⁾	-	0	<u>四</u> (一)	0	=	0	0	11.0
0	0	0	_	Ξ.	0	0	10	0	=	11711
0	0	0	1 0	0	_ (-)	0	0	0	0	= 16.
0	0		1	0	110	0	0	O	0	Ξ . Ο
	0	七	四	1111)ilO	110	-	=	_	計
0	0	(五)	(-)	(九)	(六)	(九)	(=)	(Ξ)	(E)	少きモノ側

水銀劑ヲ併用セル「サルワルサン」治療成績表

|四三|

前項「サルワルサン」ノ奏効ヲ確實ナラシムルニハ一○%撒汞流動「パラフィン、ヱムルジオン」○五宛二○回ヲ

四四

嚴密ニ併用セザルベカラズ、水銀量少キトキハ成績不良ナリ。

一、治療後「ワ」氏反應陽性ノモノハ必ズ第二次治療ヲ必要トシ、尙「ワ」氏反應陽性ノモノハ治療ヲ中止シ、症狀發

現及ビ「ワ」氏反應ヲ監視スルヲ得策トス。

一、治療前ハ症狀ノ有無ニ拘ハラズ「ワ」氏反應ヲ檢セバ治療後ノ「ワ」氏反應ニ比較スルニ便宜多シ、治療後ノ「ワ」

氏反應ハタトへ陰性ナルモ數月ノ間隔ヲ置キ數回檢査スルヲ要ス。

終リニ恩師土肥先生ノ御懇篤ナル御指導ヲ深謝シ、教室各位ノ厚キ御援助ヲ感謝ス。